

2016. 9. 16

矢作川流域圏懇談会山部会 自主企画 「神奈川県山北町の森づくり」視察

蔵治光一郎

目的

神奈川県山北町は、神奈川県の水道水源の一つである酒匂川の上流域に位置しており、神奈川県の水源環境税（府県レベルでは全国最大の予算規模）により「溪畔林再生手法開発」「対照流域法モニタリング」など、すべての事業が行われている。これらの現場を水源環境保全・再生かながわ県民会議の委員と山北町森林組合の案内により見学することで、分野横断的な視点、市民の視点から、矢作川流域との共通点と相違点を現地で確認し、矢作川流域圏懇談会の今後の議論に活かしていくことを目的とする。

先方の対応者

山北町森林組合 池谷専務理事

水源環境保全・再生かながわ県民会議 坂井マスミ委員

見学会の概要

1. 見学会の受け入れ窓口＝山北町森林組合
2. 集合場所は、JR 御殿場線 山北駅
できれば1台の車で移動できる方がいいので、1～2人が余分に乘れるような車で行く。2人までは、森林組合の4人乗り（かなりきつい）で対応
3. 開催日は、打ち合わせの上決定
 - ・日曜日の開催はしない
 - ・電車の場合、9：36山北駅着の御殿場線、帰りは16時過ぎ
4. 基本手配料は10,800円。当日朝、現金で支払い
 - ・参加者が多様な所属である場合は、1人当たり2,160円（6人目以降）が追加
 - ・人数が多くても、所属が同じで、自前で運転して来る場合は基本手配料のみ
5. 目的や要望を伝え、それに合った行程を作ってもらい
 - ・昼食は、飲食店か、弁当の注文(10食～)か
 - ・必ず道の駅に寄る
 - ・見学会での飲酒はお断り「依頼内容確認書」に前日までに記入捺印の上、森林組合にファクスで送る。

西丹沢と酒匂川の山北町へ ようこそ。平成28年7月28日(金)

～東名でつながる山北の森を
みなさんの裏山に～

お正月の門飾り 魔除けの『門入道』
カツの木(ウルシ科ヌルテ属)の縁起物



山の神様の御使い。その昔、山の神についてきた弟子が門入道になってその家を守ったいわれから、
玄関に置いて、悪いものが入って来ないようにお願いします。 写真：箒沢荘ブログ

西丹沢見学会 坂井マスマ

〔1〕 これからは木材にも、産地・銘柄・人柄の時代がきます。

日本は、自分が食べている米の産地と銘柄、生産者まで知っている国なので、30年は暮らすわが家に使われている木が、どんなところで育ったなんの木かわかったら、どれだけ愛着がわくでしょう。使われている材を語れる人を養成し、伝統を継承しましょう。まず産地が、工務店が、自分達の産地・銘柄・人柄を説明できるようになりましょう。

私達は子どもの頃から国土の7割が森林と教わってきましたが今も7割で、それは世界でも第2位。国土の7割を急峻な山に覆われて、戦争による燃料不足や急激な市街化にも関わらず太古から7割の森林率を維持してきた国民は、世界中どこにもありません。日本は世界に誇る森林国です。木の家(内装)の魅力と効果を、あらためて山から考えませんか。

1. 森林率90%の山北町は、建築業界の皆さんに一番近い産地です。

東名高速「大井松田」からすぐ近く。 新東名にスマートインター「山北」開設決定。

面積：224.7 km² 森林面積：203.28 km²

2. 丹沢からは、よい材が出ています。 他県でも高い評価。

・知名度がないため県内では安値ですが、愛知県ではおよそ5割増で取引されています。

A材 柱など、外側に見えるところで使う 取った後に短尺の半端な材が出る。

B材 ちょっとキズや節があるだけのものから、細いもの、短めのものまで多種多様。
多くは土台や柱材にも使えるものが多く、三重県からも毎月買いに来られます。

C材 薪や炭 薪ストーブやボイラーに使います。

・丹沢の良材と言えば源流部 『箒沢(ほうきざわ)の杉』と『世附(よづく)の桧』

降水量年間3000mm、平野部の2倍 神奈川県の水源地の3割を担っています。

厳しい山の自然の中で年輪がつまる 100年生の木でもそんなに太くなりません。

素朴な山北の町民性 外に対してあまり自己主張をせず、責任感が強く、黙々と働く。
特に上流部では、昔ながらの生活と狩猟文化が残っています。

3. 新歌舞伎座の檜舞台と花道を支えるのは、丹沢の百年檜1200本。

100年前に名もない先輩が、次の百年を生きる私達に残してくれた森林。

日本の山の伝統文化を残すためにも、私達の世代が使い、植え、育てる責任があります。

歌舞伎座 HP <http://www.kabuki-za.co.jp/rebuild/news/56>

伐採 <http://www.kabuki-za.co.jp/rebuild/news/60> 運搬 <http://www.kabuki-za.co.jp/rebuild/news/88>

製材加工 <http://www.kabuki-za.co.jp/rebuild/news/106>

4. 35度の超低温乾燥：バイオ乾燥の設備があります。歌舞伎座でも採用されています。木の持つ強度を引出すことで、松材が常識とされる梁にも、丹沢の檜が使えます。

<http://www.bio-drywood.com/index.php?%E6%AD%8C%E8%88%9E%E4%BC%8E%E5%BA%A7%E3%81%AE%E6%AA%9C%E8%88%9E%E5%8F%B0>

<http://www.bio-drywood.com/index.php?%E6%AD%8C%E8%88%9E%E4%BC%8E%E3%81%AE%E6%AA%9C%E8%88%9E%E5%8F%B0>

薬剤含浸とバイオ乾燥によって生まれる強靱化木材は、エクステリア用材に使えます。

日本強靱化木材(株) <http://www.bio-cooling.com/index.php?FrontPage>

5. 急峻で脆弱、山岳信仰の歴史と、大規模な林業や大量生産になじまない丹沢山地
都内の窓からは、富士山の下に連なって見える山々が丹沢です。元は太平洋の島であった伊豆半島が本州に衝突してできた山なので、火山のような変成岩ではなく脆い堆積岩で構成され、**東部は凝灰岩（第三紀層丹沢層群）、西部は石英閃緑岩（深成岩）**です。

- ・脆く、まめな手入れがなければ維持できない丹沢の森林 小規模な林家と製材工場が支えています。平成22・23年の集中豪雨で、**手入れ不足の人工林に積もっていた308年前の富士の火山灰が、広範囲で大規模な崩落**を起こしました。
- ・増えすぎた鹿の食害による崩落の危険 県内にはおよそ5000頭の本州鹿が生息していますが、年間約2000頭が狩猟または処分され、一部は食用として流通しています。
- ・深さ約1mの富士山の火山灰に覆われてかつては耕作不能となった農地 当時の農民によって約2m掘り上げ下の畑土を盛る「天地返し」によって覆土されました。現在の農地はすべて、祖先が長い時間をかけて回復し取り戻してきた場所です。

6. 西丹沢の森林と山北町森林組合が目指すこと

大産地ではない分、きめ細かな対応でご要望にお応えできるよう努力します。

※ 森林組合が、町・山・木の話、箒杉（名木100選）、檜山、製材所をご案内します。

- ・工務店さん、設計事務所さんとの関係を大切にしたい。
大規模林業や大量生産向きではない丹沢の山主や林家が生きていくためには、皆様のご指導とご鞭撻が必要です。
- ・火山灰に覆われた崩落しやすい山を安全にするためにも森林整備と販売に力を入れます。

7. 流域の歴史：伝統と格式のある酒匂川の治水と、安全文化の継承

大量の火山灰が川に流れ込み、急流酒匂川の流域を大洪水が繰り返し襲うと、小田原藩は財政難を理由に、領地を幕府に返上し、幕府はその一部の駿東郡(静岡県側)を「亡地」として、農民が見捨てられた時期もありました。19年後、八代将軍吉宗の時代になると、川崎の名主田中丘隅が、中国の治水の王『文命帝』(禹王)に倣い石を用いた堤防技術により、岩流瀬(がらせ)・大口・十文字堤を改修し、それ以降岩流瀬堤を除き今もその土手が使われています。丘隅は、地藏堂を置いて水防上の難所の目印とし、堤防の上で祭りをを行い、その都度石を持ち寄ることを教えました。開成町の名は「人をつくって事を成す」という中国の成語に由来し、中学は文明中学といえます。足柄地域は安全学習が盛んです。

〔2〕 山北の宝へご案内します

- (1) 源流部 箒沢(宝木沢)の杉林 樹齢2000年の箒杉(名木100選)と、箒杉の水
- (2) 中川温泉(信玄公の隠し湯、アルカリ性単純泉)
 - ① かくれ湯の里 信玄館 日帰り入浴できます。
 - ② 蒼の山荘 //
 - ③ 魚山亭 やまぶき //
 - ④ 町営ぶなの湯(入浴のみ)



丹沢湖(ダム湖100選)

- (3) 神奈川の水がめ三保ダムと、世附の檜林

昭和54年運用開始 堤高95m 有効貯水量5450万m³

神奈川県の水需要の30%を支える酒匂川上流にあり

石でなく草地で覆われたロックフィルダムとダム湖。湖底の村の名がダムと地域の名に。天端から丹沢湖、下の広場から洪水吐、湖畔から富士山、丹沢湖大橋と山々を望む。

◎ 西丹沢の風土： 都会にないものはだいたいあります。

- ① 自然に包まれた空間：山、湖、空、木、土、川、野生動物、農地、作物、木の実
- ② 土地に繋がっている人：同級生、昔馴染みの人達、世代を超えた人間関係
- ③ 共有されている郷土：歴史、苦難の共有、祭りの喜び、行事と文化、伝統食、言語や表現、季節感、等。

関東大震災後の復興事業として、大正14年よりお茶(足柄茶)の生産が始まりました。

温州みかんやゆず、キウイ生産も盛んです。『道の駅やまきた』でお求めください。

◎ 山北の名品

1. チェンソーアート ウッドボイス

今年日本一に輝いた蘭二郎さんの作品はかわいらしい動物が勢揃い。店舗の顔にいかが？

2. 自分の山の木で自分の手で建てられた個人住宅 親の代から引き継いだ山の木のお宅。

3. 『みほ弁』 1食600円(税別)～ 予約制(7～8月を除く)10食以上で西丹沢地域内配達

- ・ 落合館 0465-78-3190
- ・ 箒沢荘 0465-78-3501
- ・ ふる里 0465-78-3750

<http://www.suigen.jp/special/article/001228.ht>

4. 鮎寿司 かず 予約：0465-75-0229

5. どうらくかあちゃんの柚子コショウ

<http://www.suigen.jp/special/article/001151.html>

共和地区の青とうがらしと青柚子を使ったさわやかな香り。しし鍋汁の必需品。

6. 道の駅のおみやげ 季節ごとに替わる野菜と山菜

- ・ すみずみまで詰まった石田のあんぱん・クリームパン
- ・ 奥にあるイートインの天ぷら
- ・ 足柄茶 静岡に隣接した茶どころ 粉末茶 100g540円



〔3〕山北の四季

- 1月中旬 道祖神まつり
- 2月中旬 世附 百万遍念仏（県無形民俗文化財）
- 3月末～4月上旬 みつまた開花、桜まつり
- 4月29日 大野山（丹沢のマチュピチュ）山開き
- 5月 最終日曜日 西丹沢 山開き
- 6月 西丹沢トレイルラン
- 7月 海の日 丹沢湖カヌーマラソン（小学生も出艇します） 御殿場線「山北」駅付近
- 7月 第4日曜日 洒水の滝（日本の滝100選）まつり
- 8月 足柄フェニックス in 三保ダム（レゲイベント）<https://www.facebook.com/ashiragga/?fref=ts>
- 8月10日 丹沢湖花火大会
- 不定期 やまきたお峯入り（国無形民俗文化財）扮装して歌いねり歩く
- 11月3日 宝生神社流鏝馬（県無形民俗文化財）
- 11月上旬 丹沢やまきたHAPPYマウンテン（クリーンキャンペーン）
- 11月第3土曜日 もみじまつり 千人鍋（昭和39年～ 中川温泉の河原で行う猪鍋大会）
- 11月最終日曜日 丹沢湖マラソン



丹沢湖周辺でお食事ができるところ

- ① 落合館 太平楽 0465(78)3190 <http://www.ochiaikan.com/002syokuji/syokuji.html>
- ② 丹沢湖レストハウス 0465(78)3240 http://www.navida.ne.jp/snavi/4450_1.html
信玄鍋（猪鍋うどん・秋～冬）、鹿肉メニューは通年。 <https://www.facebook.com/tanzawako?fref=ts>

〔4〕山北町のフェイスブック

「山北町観光協会」ホームページ <http://www.yamakita.net/>

1. 地域のフェイスブック

「丹沢やまきた発見隊」 <https://www.facebook.com/yamakitahakken?fref=ts>

「タウンニュース足柄編集室」「山北スタイル」「西丹沢安全登山協力会」「円通寺」

- 2. 宿泊施設：①信玄館 ②丹沢湖ロッジ ③箒沢荘 ④丹沢ホテル時之栖 ⑤落合館
- 3. 公共機関：①神奈川県企業庁ダム・発電事業 ②西丹沢自然教室 ③神奈川県営水道
- 4. 行事：①山北駅前朝市（第1日曜） ②山北町室生神社流鏝馬を世に広める会
- 5. 森林・林業・地域：①神奈川県農協茶業センター ②西丹沢 山の幸
- 6. 名物 俺たちのD52

〔5〕今も現役の木杭の建物、土木の伝統

法隆寺や薬師寺を持ち出すまでもなく、日本の木造建築には長い歴史があります。

- 1. 土木学会 <http://committees.jsce.or.jp/mokuzai/node/8> のうち、005を選択
<http://committees.jsce.or.jp/mokuzai/system/files/005.pdf>
- 2. 横浜イセビル（昭和2年）イセザキモール入口 http://hamarepo.com/story.php?story_id=2069

日本人の気質や体質は、湿潤な気候と、災害から地域を守るために木を植えては使う生活の中で培われてきました。湿度が高い日本では、調湿効果の高い木の住まい、木を用いた内装は、一人一人の力を最大限に引き出してくれる条件を備えた最適な環境であるとも言えます。

[6] 丹沢の近世史 株式会社神工舎建築工房田代信行さんの資料を要約

1. 幕藩時代まで

(1) 徳川幕府成立以前 小田原北条氏の支配下

・津久井地方で産出した木材や炭を相模川を利用し出荷していた。

(2) 徳川幕府 寛永元年(1624)～ 小田原藩領鏡～津久井にかけ東丹沢一帯を天領

- ・山中掟を定め、宮ヶ瀬村、大某ヶ村、寺山村、菩提村、横野村に御林管理を命じ、丹沢御林御留山六木を定め「梅・樺・杉・栗・樅・榎」の伐採を禁じた。
- ・愛甲郡中萩野村周辺の三増、角田、田代、下萩野の5ヶ村に茶の湯等の木炭献上命じた。木炭生産用の山は御炭山とし、徹底した山林管理が行われ、伐採は雑木に限られた。
- ・御林巡視の中心地は、札掛にあったと思われる。

延宝年間 (1673～1681)以降

- ・根絶しない山荒らしに対し、御林の一部を「御林上野 (入会地)」として開放された。
- ・文政 (1818～) 以降 寺山村が、伊豆韮山江川代官を通じた幕府の援助で新開発事業。
- 宝永4年 (1707) 富士山噴火 以降 小田原藩は領内の丹沢西部林地を幕府に返上
- 延享4年 (1747) 小田原藩領復帰。藩は、新山奉行をおき、西丹沢の管理にあたらせた。
- ・松田町中津川流域7ヶ村を東山家、河内川流域の玄倉・中川・世附を西山家と呼んだ。

2. 明治以降 幕府や藩の所有林は、明治政府の管理下に入った。

明治22年(1889)御料林に編入、皇室林野局の管理下へ

明治23年(1890) 宮内省御料局 静岡支所 小田原出張所の管理下へ。

大正12年 関東大震災

昭和6年 東丹沢と西丹沢の玄倉・中川地区は神奈川県に移譲。

・世附川流域は、戦後まで御林で、終戦後に世附国有林となった。

昭和9年 丹沢林道 愛川—秦野線 完成、森林軌道 西丹沢大又線(7.2km) 開設

昭和12年 森林軌道 水の木線(7.9km) 開設

・大正初年～昭和初期 大又沢地蔵平地区 200戸の大集落となり、

大正12年～昭和35年 三保小学校 大又分校があった。

・東丹沢では木材の搬出に、木馬道や作業道が使用された。

昭和41年 森林軌道廃止 以降トラック運搬のための車輛通行林道になり、昭和50年代まで増設が行われた。

3. 自然災害史

(1) 大正9年8月 西丹沢 集中豪雨

(2) 大正12年 関東大震災

(3) 昭和12年 東丹沢、他 大出水

(4) 昭和47年7月 西丹沢 集中豪雨(山北災害)

(5) 平成22年9月8日 台風9号 西丹沢、他 集中豪雨と富士の火山灰地の崩落

<http://www.pref.kanagawa.jp/svs/bsi/portal/6.3468.14.html>

4. 出典・参考資料

- ・秦野市史 第2巻近世資料／昭和57年、第3巻近世資料(2)／昭和58年
- ・新編相模風土記 ・神奈川県 丹沢大山国定公園調査報告／昭和39年
- ・秦野市史民族調査報告書4／昭和60年

